出願は孤独で大変かもしれませんが、頑張ってください。また、研究者を目指している方は、進学先を決める際、指導教員とのマッチングを大事にしてください。（修士，アメリカ合衆国）

博士学生で留学先を決める際、事前に留学先のラボを訪れ、指導教員となる先生やそこの生徒と話すことを強く勧めます。同じ大学でも研究室間で方針や雰囲気が大きく違い、それにより留学生活は大きく左右されます。実際に、大学や先生の著名さに引かれて入学し、こんなはずじゃなかったと辞めていく人や転学する人がかなりの人数います。多少の費用と時間はかかりますが、是非事前訪問と面談を行なってください。（博士，英国）

コロナウイルスの影響で、各国の政策における人道性が問われています。この時世にこそ人文系学問の深い理解の追求・普及が必要です。どうぞ諦めずに研究を続けてください。（博士，英国）

研究室選び（分野だけでなく、応用よりか基礎研究よりかなど）は大切です。所属研究室により、取り組む分野・付き合う人間が変わるため、自身の考え方・志向は自然と影響を受けることになります。国、分野によって違いはあるかもしれませんが。（博士，アメリカ合衆国）

2 年目が終わろうとしているが、自己管理・自分で目標を設定し自分でやりきることが年々求められる。研究室を選ぶときに、放任主義なのかマイクロマネジメントなのか確認し、自分がどちらに向いているかを真剣に考えるとよいと思う。（博士，アメリカ合衆国）

自分が必要だと思う分野を勉強することが将来につながります。それがまだない場合は、それが年であるかを探るのが第一歩となります！（修士，英国）

結局ネットワークがものをいうので、田舎のランキングの高い大学に行くより都会で企業や国際機関へのアクセスがしやすい場所にいったほうがいいかもしれない（covid-19 で変わるかもしれないが）（博士，アメリカ合衆国）

英語圏以外の大学に行く人は情報が少なくて苦労されると思いますが、実際にそうした国に留学した経験者の方からお話を聞くといいと思います。私もそうして助けられてスイス留学を決めました。（修士，スイス）

留学はすべての人にお勧めできる訳ではないが、明確な目的意識を持っている人にとっては唯一無二の成長体験になると思う。経済的な理由で留学を断念するのはもったいないので、JASSO をはじめとする様々な奨学金制度を調べてみて、応募できるものにはすべて応募してみるのがいいと思う。学校選びや研究室選びに関しては、やはり自分に向いているかどうかが一番重要な判断基準だと思うので、実際に訪れてたり教授や生徒たちと話してみたりして判断してほしい。（博士，アメリカ合衆国）